令和２年度

事 業 報 告 書

自：令和　２年　４月　１日
至：令和　３年　３月３１日

宮城県仙台市泉区上谷刈字向原３番地の３０

社会福祉法人　やまとみらい福祉会
理事長　早坂　了悦

本部 事業実績報告

社会福祉法人やまとみらい福祉会は、法人開設より 10 期を終えました。社会福祉を標榜する法人として地域の福祉ニーズに果敢に挑戦を繰り返しておりますが、何より利用者、家族、職員、地域にとって望まれるサービスや支援、法人の在り方を常に念頭に置き事業実施に努めて参りました。

令和２年度は新たに泉区松森にやまとみらい南光台東保育園を開園し、地域の待機児童解消に貢献することができました。また世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスについては、利用者 1 名の感染者は出たものの、各事業所長を中心に、リスクを想定した迅速な対応、行政等からの情報収集、事業所間での情報共有等、感染拡大の防止に努めてまいりました。

いずれの事業も、地域に望まれ、ニーズに即した事業であり、順調に歩みを進めております。人材の確保、育成、定着等の諸課題や、現在蔓延している新型コロナウイルスの影響も懸念されますが、あらゆるリスクを想定し、堅実で、着実な歩みを進めて参る所存です。

［社会福祉法人やまとみらい福祉会運営事業］

令和２年度に実施した運営事業は以下のとおり。

・第１種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女(長期入所事業)

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東(長期入所事業)

・第２種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女((介護予防)短期入所生活介護事業)

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東((介護予防)短期入所生活介護事業)

ヘルパーステーション東雲(老人居宅介護等事業)

ホームヘルパーステーション東雲(居宅介護事業／障害者)

やまとみらい八乙女保育園(小規模保育事業)

やまとみらい南光台東保育園(認可保育園)

就労移行、定着支援事業所オルタ八乙女(障害福祉サービス)

就労継続支援(Ａ型・Ｂ型)事業所ワインフォレスト七ツ森(障害福祉サービス)

・公益事業

ケアプランセンター抱優(居宅介護支援事業)

ケアプランセンター東雲(居宅介護支援事業)

サービス付き高齢者向け住宅東雲（サービス付き高齢者向け住宅）

・収益事業

不動産賃貸業

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
R2.8.27	令和２年度　仙台市社会福祉法人・施設職員研修	事務職員	仙台市社会福祉協議会
R2.8.28	職場のハラスメント対策等セミナー	事務職員	宮城労働局
R2.8.31	令和２年度　宮城県社会福祉施設　事務担当職員研修	事務職員	宮城県社会福祉協議会

特別養護老人ホーム抱優館八乙女　事業実績報告

特別養護老人ホーム抱優館八乙女は、地域に根ざした社会福祉法人として令和元年度に引き続き、地域に望まれる施設運営を念頭に業務を進めることと、介護の質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めました。

入居者の安全確保は、感染症及び食中毒等について、厨房委託業者との連携、全職員参加の予防研修等により食中毒及びインフルエンザの罹患者はゼロでしたが、２月以降、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスの持ち込みの予防対策として、家族の面会制限や来館者に対する検温、うがい、手洗い、マスク着用の徹底、体調不良職員に対する対応等、感染症予防対策に重点的に取組み、これをさらに継続して進めて行くことにしています。

嘱託医に関しては、入居者の健康管理体制及び看取り体制も支障なく執行できています。令和２年度に施設退所された方は 26 名、内看取り介護同意の方は９名でした。認知症の入居の方への精神科クリニック医師による月 2 回の診察・指導に加え、歯科医指導による口腔ケアの取組みも継続して行っております。

令和２年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護１	2	3	4	5	平均	
	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	介護度	年齢
男	―	94.00	81.25	87.50	78.80	4.2	82.91
女	―	80.00	89.18	90.07	88.14	4.2	88.94
計	―	83.50	87.07	89.65	85.68	4.2	87.63

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女利用実績]　全 80 室　平均入居者 78.1 人　稼働率 97.7%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
４月	78.8 名	98.5%	１０月	79.4 名	99.4%
５月	76.9 名	96.1%	１１月	79.0 名	98.8%
６月	76.4 名	95.5%	１２月	79.2 名	99.0%
７月	76.7 名	95.9%	１月	77.9 名	97.3%
８月	78.8 名	98.5%	２月	78.0 名	97.5%
９月	78.4 名	98.0%	３月	78.4 名	97.7%

（介護予防）短期入所生活介護抱優館八乙女　事業実績報告

利用者像の多様化と重度化が進行し、入居者に対応した介護職員のスキルアップとご利用者の希望に直ちにミスなく対応できる体制が強く求められています。短期入所生活介護部門(ショートステイ)は、在宅の方が利用対象であり、地域のケアマネージャーなどとの連携が課題です。そのことを念頭に、「在宅支援」と位置付け、抱優館八乙女が地域福祉拠点として、地域包括ケアに果たす役割を担うこととしております。その結果、平均稼働率は、目標の 90%に対し、84.5%となりました。こうしたことから、今後の職員の成長を期するとともに、地域に信頼されるショートステイの構築に努めて参りたいと思います。

[（介護予防）短期入所生活介護抱優館八乙女利用実績] 全 20 室
平均月延べ利用者数　　513.3 人　　稼働率　84.5%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4 月	500 名	83.3%	１０月	497 名	80.2%
5 月	486 名	78.4%	１１月	507 名	84.5%
6 月	462 名	77.0%	１２月	527 名	85.0%
7 月	485 名	78.2%	1 月	525 名	84.7%
8 月	516 名	83.2%	2 月	523 名	93.4%
9 月	548 名	91.3%	3 月	584 名	94.2%

抱優館八乙女サービス提供実施状況

住まいづくり：各ユニットにおける生活環境の適正化に努め、ふれあい福祉作業による清掃に加え、ユニット内外の取組みで環境整備を行い、厚みのあるケア体制作りを進めることができました。また安全衛生委員を中心に 4S 活動等環境チェックを実施し、環境美化に取組みました。また事務職員の当番制でのトイレや給湯室の定期清掃、マスク・手指消毒剤等の点検・補充に努め、環境美化と感染症予防に取組みました。

安全･安心な美味しい食の提供：産直米・産直野菜の使用と日清医療食品の協力、管理栄養士のミールラウンドによる嗜好調査、季節の料理提供等、安全で美味しい食の提供に努めました。

チームづくり：2 度の職員面談やユニットリーダーとの個別面談、諸会議などを積み重ねて業務課題の抽出を行い、情報伝達や記録方法のデータ化等、業務全体の改善定着を図りました。
服薬ミス、転倒など職員のスキルに起因するミスの根絶を目指し、医務室と共に『服薬マニュアル』の点検と見直し、確認作業の徹底など、事故のない業務遂行を課題に取組んでいます。また結婚･出産の職員が増加し、産休後職場復帰する方が殆どの状況下、更に「女性のチカラを活かす企業」として働きやすい職場環境作りが具体的に求められます。

リスクマネジメント：リスクマネジメント委員会をはじめとする委員会設置とその活動は、年々、重要性を増しています。毎月の事故報告やヒヤリハット事例の検討と事前予防のための「フォーユーレポート」をもって、点検と対応に努めました。特に、誤薬・服薬ミスは入居者の健康維持

上重要であることから、看護・介護に加え、嘱託医等の多・他職種との連携によって改善し、発生予防のために服薬マニュアルの再度の作成と研修を実施し、人的ミスの防止に努め、減少化しております。

人材採用・育成：介護現場において重要なことは、人材の採用と育成です。面談や日常の指導において、特にリーダー層を中心に、面談による課題抽出と配置転換による継続指導を実施し、自覚的取組みと改善を行ってきました。より良い職場環境の醸成と自主的な職員活動が得られつつあるところですが、ユニットリーダーはじめベテラン職員が自覚的に振る舞うことが課題でもあります。

従来からの慢性的看護職不足は、昨年１２月の時点で一応解消されたものの、看護職間の情報共有や連携等の面で課題も多く、思い切った人事更新策や業務指導の継続実施を行っていく必要があります。

また、多くの介護施設が職員不足に喘ぐ中、当施設も例外ではなく慢性的な介護職員不足に陥っております。全産業に及ぶ労働力不足に対応し、引き続き職員募集を行いながら、研修や介護マニュアルの徹底等によって、よりよい介護人材の獲得と良いケアの実現に努めていきます。

抱優館八乙女各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催日】

月１回（計 12 回）

【本年度の取り組み】

・事故につながりそうな出来事を周知する目的で、フォー・ユーレポートの活用の定着を目指す。
・入浴用品の劣化から事故につながる恐れがあるため、委員会で入浴備品管理とその購入を進めた。
・事故報告書の書き方にバラつきがあるため、表現の統一を図ることにし、７月に報告書の書き方の研修を行う。
・緊急時に適切な処置ができない職員が増えてきている事から、１月に緊急時対応の研修を実践を交えて行う。
・毎年のことではあるが、誤薬・与薬事故に関しては、職員の意識次第で防げる案件でありマニュアルの徹底を意識してもらえるよう取り組む。

【反省】

・フォー・ユーレポートは、施設独自の取り組みであって、職員の入れ替わりにより、その理解が不十分でよりよい活用ができなくなっていた。最終的には、フォー・ユーレポートを廃止し、ヒヤリハット報告を簡略化してリスク管理に活かすことになる。ヒヤリハットの出来事に関しては、ユニット内での周知を十分に行い、大きな事故につながらないよう努めていくことを来年度の取り組みでも行っていく必要がある。

・事故報告書での専門用語や文章表現については、個性が出たりし、定着には至らず。
書かないことが望ましいが、書くことになってしまった場合は、見本を見て書けるようになってもらう取り組みを続けていく。
・研修については、緊急時対応に関して知識として得ておかなければならない内容で取り組めたと思うが、参加率が伸びず。来年度も、職員のレベルアップも目標にして研修内容を考えて実施していく。派遣職員の参加も促していく。
・報告書の提出が遅かったり、事故内容について支援課との共有が不十分なことが目立っていたため、来年度は、速やかな解決を定着させていけるよう働きかける。

●感染症予防対策委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、
機能訓練指導員、看護師、介護職員
【開催日】
奇数月　第 3 木曜日
【本年度の取り組み】
・年間目標と活動計画の作成
・掃除マニュアルの徹底
＊研修⇒5 月　　・・・食中毒研修
11 月 16 日・27 日　・・・吐物処理の研修
【反省】
委員会開催時、宮城県内の感染症状況を提示することで、感染症に対する意識づけができたと思われる。インフルエンザの罹患者は、入居者様・職員とも「0」であり、コロナウイルスの感染予防を徹底することで、両方の感染を予防できたと考えられる。ウイルス性ではなかったが胃腸炎で体調を崩す職員が見られたため、今後も体調管理の大切さを伝えていく必要があると思われる。
研修については、コロナウイルス感染予防のため、外部講師によるものは実施できなかったが、昨年実施することができなかった内部研修の「吐物処理の研修」を実施することができた。より多くの職員が参加できるように 2 回に分けて行ったが、参加者が少なく、次年度の課題と考える。
感染症予防対策を徹底し、感染者「0」を次年度も目指していきたい

●身体拘束廃止・ケア向上委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、
看護師、介護職員
【開催日】
計 4 回　（研修：5 回実施）
【本年度の取り組み】
・身体拘束の基本的な部分をしっかり理解する。

・身体拘束のグレーゾーンを明確化させる。
【反省】
・ユニット内で見受けられる身体拘束のグレーゾーンについて話し合うことができたが、委員会で話し合った内容がユニットに伝わっていない時があった。
・コロナウイルスの影響もあり、委員会や研修の開催数と参加人数が減った為、参加を促せるような工夫が必要になってくる。
・ベランダのストッパーに関しては設置数が減ってきている。

●虐待防止・ケア向上委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員
【開催日】
計 6 回（緊急開催 1 回含む）
【本年度の取り組み】
２ヵ月に 1 回の定例委員会開催（4 月はコロナウイルスの為未開催）の他、年度中 2 回の施設内研修を行った。2 回目の研修はコロナウイルス感染症感染防止の為、事例を配布し個人ワークを実施した。
【反省】
施設開設後初となる緊急虐待廃止委員会の開催は、事前に事案を食い止められなかった悔しさが残るものとなった。再度、同様の事案が発生しないようこれからの委員会活動で情報発信を行っていきたい。

●栄養管理委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、看護師、管理栄養士、介護職員、（委託先）日清医療食品㈱：管理栄養士
【開催日】
計 11 回（うち 1 回は資料配布のみ）
【本年度の取り組み】
・年間計画書、目標作成
・行事食の立案、検討、反省
（たけのこ弁当、昭和の日ランチ、こどもの日メニュー、とんかつ弁当、七夕メニュー、土用丑の日、納涼祭、敬老会弁当、芋煮会、海鮮丼、クリスマス会、餅つき大会、年越しメニュー、正月メニュー七草がゆ、節分、バレンタインメニュー、寿司の日、ひな祭りランチ、ひな祭りおやつビュッフェ）
・食中毒予防研修の実施、発生状況について報告
・嗜好調査の実施、集計
・衛生状況のチェック、指導
・使用食材の選定、メニューの検討
・中心温度表、衛生管理表回収、確認

【反省】
・コロナ禍で１回目は文書のみ、２回目は５月実施不可で６月からの本格スタートであった為当初予定していた活動ができなかった。
・前年度試食や試飲等で提供する食材について検討できていたが、今年度実食が不可であった為、提供内容の検討ができなかった。
・予算や人員が限られた中、また外出外食ができない中、できる限りの行事や行事食は実施できたと感じている職員が多かった。
・ユニットや入居者の今ある問題点を迅速に対応できた。
・来年度も状況は変わらないと予測される為、行事食の内容や回数をさらに検討し、施設内でも季節感が味わえる給食運営を日清さんとチームとなり取り組んでいきたい。

●排泄・褥瘡予防委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員
【開催日】
計 11 回
【本年度の取り組み】
上半期排泄目標：下剤以外での排便の取り組み
上半期褥瘡予防目標：個々の発赤になりやすい部位の把握
下半期排泄目標：パットに失禁のないトイレ誘導
下半期褥瘡予防目標：除圧の強化（ベット、車椅子時）
【反省】
コロナ禍での研修でオムツ当て研修や陰洗研修といった毎年行う事が出来ず、接触を避けた研修として、問題を作成し、今後どの部分を強化していかなければいけないかと言うことあぶり出しを行った。ポスターも各委員が持ち回りで作成することにより、委員自身も目標が明確にでき他の職員に促しが出来てと思われる。
今年は、委員らの気づきが出来てきており、ユニットでの問題点を委員会で話し合うことが多く見られていた。
しかし、毎年の研修が出来なかったこともあり、レベルの向上は出来ていないように感じる委員も多くいた。
排泄の目標も、大半のユニットで下半期も上半期も達成できなかったこともあり、継続していくことの大切さがわかった一年となった。
来年度、コロナ禍の中どのように活動、研修を行っていくかが重要視される。

●行事企画・広報委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、

看護師、介護職員、総務職員
【開催日】
計 11 回（5 月のみコロナウイルスにより開催見送り）
【本年度の取り組み】
5/21　園芸クラブ①、6/10 園芸クラブ②、7 月 七夕飾り、　8/22　納涼祭、9/21　敬老会、
12/24　クリスマス会、12/28　餅つき大会、3/3　おやつバイキング
【反省】
今年度は新型コロナウイルスの影響により十分な注意を払い最小限にて行事を行った。
クラブ活動も園芸クラブのみで積極的に行う事は出来なかった。
毎年恒例の納涼祭・敬老会・クリスマス会は規模を縮小したが実施することは出来て入居者・利用者の方々も楽しめたのではないかと思う。
おやつバイキングは今年初めて実施したが、評判もよく反省も含め今後も継続して実施していきたい。
来年度もどのような状況になるか分からないが、コロナウイルス対策は必須となっていくことから、委員会全体で話し合い安全・安心に施設全体で出来る行事を考えて行かなければならない。

●安全衛生委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員、総務職員
【開催日】
月 1 回（計 12 回）
【本年度の取り組み】
・今年度はコロナウイルス予防の観点から奇数月に 4S（整理・整頓・清掃・清潔）チェックをフロアごとに実施し、偶数月の委員会内で報告、各フロア内の危険個所等の確認を行い、労働環境の整備・向上に努めた。
・年間計画の内容で、資料を用いた座学を実施し、「熱中症予防」や「雪道の運転」等の一般知識で調べられる項目に関しては、他委員に月ごとに担当し座学を実施、委員の知識の向上を目指し、ユニット内での周知を行った。
【反省】
・定期的な 4S チェックにより各フロア内の危険個所等は徐々に改善されつつあるが、細かな部分での指導箇所は 4S チェック時に毎回見られる為、委員会後の委員による各ユニットへの再指導や前回の記録を持っての 4S チェックの実施に力を入れる。

●防災対策委員会
【構成メンバー】
施設長、生活支援課長、介護支援係長、相談支援係長、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員、総務職員
【開催日】

計６回

【本年度の取り組み】

・新型コロナの影響もあり、避難訓練を行う事が出来なかった為、各ユニットで避難経路等について周知を行った。

・緊急連絡網を最新の物にし、連絡網を使用した訓練を実施。（R2.8.21）

【反省】

・新型コロナが流行し、避難訓練が１度も行う事が出来なかった。新型コロナの状況にもよるが、今後、避難訓練を行う際は、避難経路等について徹底した周知が必要。また、新型コロナの感染が落ち着いた際は、年に２回の避難訓練を行う必要がある。

・緊急連絡網を使用した訓練については、課題等（連絡をする順番の考慮）も見えたため、行ってよかった。今後も継続して行うと良いと思われる。

・８月に４階フロアの火災報知器が誤作動し、結果、施設全体の設備を消防に確認してもらう機会ができて良かったと思われる。

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
5/20	令和２年度　宮城県介護職員合同入職式	介護職員	仙台市老人福祉施設協議会

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東 事業実績報告

① 年度当初より新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ショートステイの新規受入れ制限、ご家族様との面会制限、利用者様への外出支援や集団での行事の自粛と、様々な制約の中、マニュアル整備、フローチャート作成等様々な予防策を講じ利用者様、職員とも１人の感染者を出さず事業を実施してまいりました。

② 地域密着型サービス事業所に義務付けられている「運営推進会議」はコロナウイルスの影響により開催を全日程中止。文書照会にて行いました。

③ 近隣住民等との親睦の為、地域交流スペースを利用した「ひまわりサロン」「やまとみらいにぎわい食堂」についてもコロナウイルスの影響により開催を見送りました。

④ 昨年度にも増し、職員の自己管理意識と責任の醸成につながり、各専門職種と介護職員が一体となって運営体制を整備してきました。介護職員の募集については現在も難航しておりますが、入居者の受入れについては順調に推移しました。

令和２年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	平　均
男　性	-	-	92.4 歳	74.9 歳	63.1 歳	79.2 歳
女　性	-	-	90.4 歳	88.4 歳	85.2 歳	88.0 歳
合　計	-	-	90.9 歳	86.7 歳	81.5 歳	86.5 歳

[地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東利用実績]　全 29 室

・平均入居者　27.8 人　稼働率 96.11%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4 月	29.00 名	100.00%	１０月	28.81 名	99.33%
5 月	28.58 名	98.55%	１１月	28.96 名	96.55%
6 月	28.86 名	99.54%	１２月	29.00 名	100.00%
7 月	28.38 名	97.88%	1 月	28.41 名	97.96%
8 月	29.00 名	100.00%	2 月	28.00 名	96.55%
9 月	29.00 名	100.00%	3 月	28.00 名	96.55%

[(介護予防)短期入所生活介護抱優館南光台東利用実績]　全 10 室

・平均月延べ利用者数　276.57 人　　稼働率　90.93%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4 月	259 名	86.33%	１０月	269 名	86.77%
5 月	261 名	84.19%	１１月	278 名	92.67%
6 月	269 名	89.66%	１２月	267 名	86.12%
7 月	307 名	99.03%	1 月	287 名	92.58%

8 月	281 名	90.65%	2 月	258 名	92.14%
9 月	285 名	95.00%	3 月	298 名	96.12%

抱優館南光台東各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、看護師、介護職員

【開催日】

月１回　計 11 回（5 月のみコロナウイルスにより開催見送り）

【本年度の取り組み】

・委員会の目的と役割の確認
・事故報告書作成の手順の作成と配布
・情報の共有、再発防止策の効果の確認までの流れの文書化と周知
・転倒転落アセスメントシートの導入と離床センサー設定の一覧化
・ユニット内テーブル、椅子の定期点検の実施
・ヒヤリハットの共有のアナウンス、啓発の掲示
・入浴機器のメンテナンス依頼
・車椅子の点検のアナウンス
・開催ごとの直近の事故報告内容の共有と検討
・前年度、今年度の事故件数、ヒヤリハット件数の集計と統計

【反省】

今年度の介護事故発生件数は７９件、ヒヤリハット報告件数は１０５件。介護事故の内訳としては、転倒・転落・ずり落ちに関するものが３９件、内出血、擦過傷等の外傷が１３件、誤嚥が２件、主に落薬の発見等の内服支援に関するものが１５件、その他が１０件であった。そのうち、仙台市へ報告した重大事故については、骨折事故の１件であった。

年度当初に事故報告書の作成手順、再発防止策の検討からその効果の確認までの流れについて周知すると共に、情報の共有、事故発生を未然に防ぐためにヒヤリハットの重要性について委員会より啓発し、全職員が共通の認識で取り組み、対応することができた。

転倒・転落アセスメントシートの導入、離床センサー設定状況について都度委員会で確認し、設定状況の曖昧さをなくすことに努めた。その他、ハード面の定期点検を一部で習慣化できた。

職員研修について、開催に至らなかったことからを反省し、次年度においては実施していく。

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催日】

計 6 回（うち 1 回は緊急開催）

年 2 回の感染対策研修　6 月…食中毒予防、10 月…吐物処理の実践

【本年度の取り組み】

・年間目標と活動計画の作成。

・感染対策マニュアルの改訂

〇新型コロナウイルスに対する感染対策

・入口玄関、事務所内のパーテーション作成

・ショートステイの新規受入れ制限、面会制限の実施。

・感染防護用物品補充

・新型コロナウイルス感染対策マニュアル整備（フローチャート作成）

【反省】

今年度はコロナウイルス感染拡大に伴い、当委員会としても対策に尽力した 1 年間であった。

厚生労働省老健局発行の介護保険最新情報に基づき、新型コロナウイルス感染対策を講じ、ショートステイの新規受入れ制限、面会制限、入居者様の外出支援や集団行事の自粛と、様々な制約を余儀なくされたが、その甲斐があり、感染者を一人も出さずに年度を締めくくる事が出来た。

次年度も早々にマニュアルを見直し、実践的ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝの実施を重ね、感染者 0 を目標に対策に努めたいと考える。

●身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催日】

計 3 回

【本年度の取り組み】

・新型コロナ感染防止の為、1 回目の研修が中止になり、自己学習として「スピーチロックとは」「背施設従事者のための自己チェック」の資料を配布した。

・研修用 DVD を活用し「不適切ケア防止」の研修を行った。

【反省】

・研修用 DVD を購入して頂き、研修がスムーズに進めることが出来て良かった。

・研修の内容については事例毎に設問があり、各々の意見を聞くことができた。また「チェックシート」の記入もあり、理解度も把握できたと思う。

・DVD の購入から研修までの時間がなかったこともあり、内容の検討があまりできず、「ケア向上」の研修となってしまった。次年度は「身体拘束」の内容を検討する。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

生活相談員、介護支援専門員、看護師、管理栄養士、介護職員、

（受託先）日清医療食品㈱　エリアマネージャー、調理師、調理師、調理員

【開催日】

計 11 回（5 月はコロナ対策の為、未実施）
【本年度の取り組み】
・毎月の行事食立案、実施、反省、行事委員会との連携。
施設開催（お弁当の日、土用丑の日、居酒屋、敬老祝い食、クリスマス会、おせち料理、七草粥、餅の日、節分、バレンタインデー、ひな祭り等）
ユニット開催（ラーメン、芋煮会、天ざるの日、ひな祭りアイスパーティー、鍋の日）
・嗜好アンケート（職員、利用者）実施。
・食中毒、ユニット衛生管理（清潔保持）についての研修実施、マニュアルの読み合わせ。
・食事配膳時の入居者様に対する配慮について、資料作成し配布、周知。
・常食とソフト食の食事形態について、使用食材の検討。
・実施予定献立表を元にユニットからの要望、意見交換。より良い給食の提供を目指す。
・誤配膳を防ぐ取り組みを継続しての実施。
【反省】
・年間通して、誤配膳が未だある。日清医療食品へ継続してチェック強化を依頼。
・ユニット毎の行事食実施が多くなり、職員も参加してのアットホームな行事食の提供が増えている。
・未完成ではあるが、ソフト食、ムース食が安定して提供出来るようになってきている。
・受託側の日清医療食品の人員の入れ替え多く、調理方法、配膳方法等の統一がされず、味の低下が見られる。指導方法、申し送り方法等、改善を依頼中。

●排泄・褥瘡予防委員会
【構成メンバー】
施設長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員
【開催日】
計 10 回（4、5 月はコロナ対策の為、未実施）
【本年度の取り組み】
・年間目標と活動計画の作成。
・皮膚状態の把握と対策⇒毎月報告し、原因の分析と対策を検討。
・オムツ・パッドの使用状況と排泄状態の確認⇒統一した使用の確認と、排泄支援が難しい場合の話し合い。
・ユニ・チャーム様より肌への負担が少なく、吸収量の多いパッドの提案により、尿量測定、肌状態変化（写真)、コスト等の検討を繰り返しながら 6 名使用。
・褥瘡の発生の有無と状態の報告。
・個別ブレーデンスケールの評価の確認
・研修…「オムツ・パッドの特徴と当て方」研修を受けた委員 3 名が個別でユニット職員に研修。「陰部洗浄」　ユニ・チャーム横田様。
【反省】
皮膚の状態は、悪化する前の早めの報告、対応により大きな皮膚トラブルはなかったが、乾燥や掻痒感による掻き傷は見られたので、以前に決めた入浴後の保湿、保湿剤入りの上がり湯、保湿剤の常備な

ど再確認が必要と思われる。統一したパッドの使用は、日勤、夜勤での使用で問題なく出来ていた。新しいパッドの導入は特徴を活かしながら交換回数を減らすことで、入居者と支援する側が共に利点が得られるよう何度も話し合い時間をかけた結果で、感染防止やゴミの削減の意味も含め考える良い機会となった。褥瘡は体調不良となり臥床時間が増えると出来やすく、特に踵など見えにくい部位に発生してしまった事は大きな反省点で、委員が中心になって予防に努めていかなければならない。パッドの研修はコロナ感染予防のため、個別に行わざるを得なかった。陰部洗浄は数人のグループで出来た。毎年基本的な事を確認しながら行っているが、研修内容や委員がもっとユニットに発信出来るよう、学んでいる事がケアに活かされるよう、取り組んでいきたい。

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、生活相談員、管理栄養士、看護師、機能訓練指導員、介護職員、総務職員

【開催日】

計 13 回

【本年度の取り組み】

5 月　母の日（ユニット毎に開催）
　　ラーメンイベント（1 丁目）

6 月　父の日（ユニット毎に開催）
　　ラーメンイベント（2 丁目）

7 月　天ざるの日（ユニット毎に開催：例年は流しそうめんを行っていたが三密を防ぐ為に変更）
　　七夕飾り展示（コロナの影響で吹き流し作りは行わず、短冊のみ展示）

8 月　居酒屋（ユニット毎に開催：例年は家族も招いて納涼祭を行っていたが三密を防ぐ為に変更）

9 月　敬老会（ユニット毎に開催：例年は家族も招いて式典、余興を行っていたが三密を防ぐ為、食事会のみ実施）

10 月　芋煮会（ユニット毎に開催：例年は屋外で行っていたが三密を防ぐ為、変更）

11 月　鍋パーティ（ユニット毎に開催）

12 月　クリスマス会（ユニット毎に開催）

1 月　餅提供・餅花作り（ユニット毎に開催：例年は餅つきも行っていたが三密を防ぐ為、おやつ時にお汁粉提供のみ実施）

2 月　鍋パーティ（ユニット毎に開催）
　　節分（南光台東保育園に鬼役協力）

3 月　ひな祭り（ユニット毎に開催）

【反省】

コロナウイルス流行拡大の影響から例年行っていた家族参加型のイベントを実施できず、各イベント共に三密を防ぐ意味合いでユニット開催が多くなった。実施内容の見直しだけでなく、予定していたイベント自体の変更もあり、例年とは違う趣の行事開催となったがなかには施設として初の試みもあり、結果的にはご利用者様方には喜ばれる内容になったものもあったように感じる。また、年度途中で委員長の退職があり、以降は委員長不在の中で各委員がアイデアを持ち寄り、提案し、協力しながら実施で

きたのではないかと思われる。

面会制限も続き、前年までと比べるとご家族様とご利用者様、職員の交流の場が極端に減った1年ではあったが年度途中から総務課長の呼び掛けで毎月、ご家族様にイベントの際の写真とコメントを送るようになり、定着化を図ることができた。ご家族様から喜びの声を多数いただけたのは行事委員を始め、ユニット職員の努力の賜物と思われる。

4月に開所した南光台東保育園との交流機会もほとんど持つことはできなかったが開所に当たってはご利用者様と共に作ったブローチを園児たちにプレゼントすることができ、節分には男性職員が鬼役で参加し、園児や父母の方々に喜んでいただけたようであった。

コロナウイルスの影響は次年度も続くと思われるが今後も感染予防策を講じながら、ご利用者様方の日々の生活の中に変化と楽しみを提供できるような企画を立案し、実施できればと思う。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

施設長、生活支援課長、生活相談員、管理栄養士、看護師、機能訓練指導員、介護職員、総務職員

【開催日】

計3回

【本年度の取り組み】

・消防・防災訓練の実施　（9月15日）

9月15日、自主訓練(夜間想定)にて実施。消防訓練未経験の職員に経験してもらった。

・防災に関するアンケートを実施

防災に対する意識を高めること、防災上の不備をなくす目的でアンケートを8月に実施。各職種の職員から当施設の防災上の改善点について様々な意見を得ることが出来た。

・ヘルメットの配置場所の変更

ルメットと懐中電灯はユニットの介護材料室のロッカーにしまっていたが、緊急時取り出しやすいPCデスク脇に配置を変更した。

【反省】

・消防訓練を年2回行う予定であったが、新型コロナの影響などでスケジュール調整が上手くいかず、今年度は1回のみの実施となってしまった。訓練未経験の職員に消防訓練を実施してもらうことで、防災に対する意識向上が図れた。

・防災に関するアンケートを行う事で、各職員の防災に対する認識を把握し、また意識を高めることが出来たのではないか。防災備品の充実など、アンケートで挙がった防災上の改善点について解決できていない課題があるため、次年度しっかりと取り組みたい。

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
6/2	喀痰吸引研修	小山ﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ	ﾌﾟﾚｾﾞﾝｽ・ﾒﾃﾞｨｶﾙ㈱
5/1	介護職員実務者研修	佐々木介護職員	日建学院

ヘルパーステーション東雲（訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業）事業実績報告

ヘルパーステーション東雲では既存の利用者に加え新規でご相談頂く利用者のニーズを把握し、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター等と連絡を密にとり介護保険サービスの枠に囚われず自費サービスも含め幅広いニーズに応えるべくサービス提供を実施しております。

令和２年４月より特定事業所加算Ⅱを算定し、「個々人のスキルアップ」に重点を置いた内部研修を実施して参りました。一方、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上でサービス提供に努めておりますが、利用者によってはサービスの利用を自粛される方もいらっしゃいました。

次年度も、特定事業所として利用者が安心してサービスを受けれるよう、職員一人一人が感染症対策を徹底し、サービスの質の向上を図り地域から選ばれる訪問介護事業所を目指して取り組んで参ります。

令和２年度利用実績

訪問介護　平均利用者数　30.75 名　平均介護度　1.93

	要介護１	2	3	4	5	合計
４月	15 名	10 名	0 名	6 名	2 名	33 名
５月	15 名	9 名	0 名	5 名	2 名	31 名
６月	12 名	10 名	0 名	3 名	2 名	27 名
７月	15 名	9 名	0 名	4 名	3 名	31 名
８月	14 名	10 名	0 名	4 名	3 名	31 名
９月	15 名	10 名	0 名	4 名	1 名	30 名
１０月	15 名	10 名	0 名	4 名	1 名	30 名
１１月	15 名	10 名	0 名	4 名	1 名	30 名
１２月	17 名	10 名	1 名	3 名	1 名	32 名
１月	17 名	10 名	1 名	3 名	1 名	32 名
２月	16 名	10 名	1 名	3 名	1 名	31 名
３月	15 名	10 名	1 名	3 名	1 名	31 名
平均	15.16 名	9.83 名	0.33 名	3.83 名	1.58 名	30.75 名

介護予防・日常生活支援総合事業　平均利用者数　14.25 名

	事業対象者	要支援１	要支援２	合計
４月	6 名	4 名	5 名	15 名
５月	6 名	3 名	5 名	14 名
６月	6 名	3 名	4 名	13 名
７月	6 名	3 名	4 名	13 名
８月	6 名	3 名	4 名	13 名

９月	６名	３名	４名	13 名
１０月	６名	４名	４名	14 名
１１月	５名	５名	５名	15 名
１２月	５名	４名	５名	14 名
１月	５名	５名	５名	15 名
２月	５名	５名	６名	16 名
３月	５名	５名	６名	16 名
平均	5.58 名	3.91 名	4.75 名	14.25 名

内部研修報告

開催日	研修名
4/21	感染症対策
5/26	身体介護
6/23	緊急時対応
7/21	接遇マナー
8/25	介護サービス事業者感染症対策研修会（YouTube 動画）
9/26	介護事故事例検討
10/27	記録とモニタリング
11/24	認知症関する理解
12/22	プライバシー保護
1/26	生活援助
2/16	令和３年度介護保険法改正
3/23	令和２年度の業務振り返り

ホームヘルパーステーション東雲（障害者自立支援・居宅介護）　事業実績報告

令和元年 11 月 2 日以降、稼働実績がございません。事業所としては、ヘルパーステーション東雲と兼任業務となる為、対応可能な曜日・時間帯を相談支援事業所へ案内し利用者の獲得に努めて参ります。

令和２年度利用実績　なし

障がい者自立支援　※令和元年 11 月 2 日を最後にサービス利用終了。

	区分 1	2	3	4	5		合計
4 月	-	-	-	-	-	-	-
5 月	-	-	-	-	-	-	-
6 月	-	-	-	-	-	-	-
7 月	-		-	-	-	-	-
8 月	-	-	-	-	-	-	-
9 月	-	-	-	-	-	-	-
１０月	-	-	-	-	-	-	-
１１月	-	-	-	-	-	-	-
１２月	-	-	-	-	-	-	-
1 月	-	-	-	-	-	-	-
2 月	-	-	-	-	-	-	-
3 月	-	-	-	-	-	-	-
平均	-	-	-	-	-	-	-

ケアプランセンター東雲 事業実績報告

昨年度に引き続き２名体制での運営となりました。１名については未経験ながらも、担当件数を順調確保し給付管理件数 35 件に達しております。

各地域包括支援センターや病院から新規の依頼はあるものの、担当件数が上限近くに達しており残念ながらお断りしている現状です。

（重点課題）

1. 新しい職員の確保
2. 職員が長く定着できる方法の検討
3. 特定事業所加算取得のための体制づくり

上半期においては新型コロナウイルス感染症の対応として市や町、各職能団体が主催する連絡会、事例検討会、研修が中止となっております。事業所内にて特定事業所に向けた準備として、介護支援の手引き（黄色ファイル）を使用した勉強会や個々のケースについての検討を事業所内で行っていきます。

令和２年度　利用者実績　平均担当件数　64.33 名

	要介護1	2	3	4	5	合計	要支援	担当	新規	終了
４月	14 名	24 名	4 名	9 名	4 名	55 名	14 名	62 名	0 名	0 名
５月	15 名	23 名	3 名	8 名	4 名	53 名	14 名	60 名	0 名	0 名
６月	16 名	25 名	5 名	8 名	5 名	59 名	14 名	66 名	0 名	1 名
７月	16 名	24 名	3 名	6 名	4 名	53 名	14 名	60 名	1 名	2 名
８月	17 名	23 名	5 名	5 名	5 名	55 名	14 名	62 名	2 名	0 名
９月	21 名	23 名	5 名	5 名	4 名	58 名	14 名	65 名	4 名	0 名
１０月	22 名	23 名	5 名	6 名	4 名	60 名	14 名	67 名	2 名	0 名
１１月	21 名	22 名	6 名	7 名	4 名	60 名	12 名	66 名	0 名	0 名
１２月	22 名	21 名	5 名	7 名	4 名	59 名	12 名	65 名	0 名	1 名
１月	21 名	21 名	5 名	7 名	4 名	58 名	12 名	65 名	0 名	1 名
２月	23 名	21 名	6 名	7 名	4 名	61 名	13 名	67.5 名	2 名	1 名
３月	23 名	20 名	6 名	7 名	4 名	60 名	13 名	66.5 名	0 名	0 名

（実績のある利用者のみを記載。要支援認定者は２名で１件とする）

会議・研修等受講報告

受講月日	研修名	実施主体
7/21	事例検討会「服薬が困難なケース」	塩釜市北部１地区地域包括支援センター
7/29	「当事者を主体とした自立支援」	宮城県ケアマネージャー協会　塩釜支部
9/15	事例検討会「自立支援医療制度」	塩釜市北部１地区地域包括支援センター

9/24	「認知症の人との関わり」	宮城県ケアマネージャー協会　塩釜支部
11/17	事例検討会「買い物が困難」	塩釜市北部１地区地域包括支援センター
11/26	「コロナウイルス感染症の影響」	宮城県ケアマネージャー協会　塩釜支部
1/15	「新型コロナウイルスに関する対応と対策」	宮城県ケアマネージャー協会　塩釜支部
1/19	地域リハビリテーション活動支援事業	塩釜市北部１地区地域包括支援センター
3/16	地域支え合いのための意見交換会	塩釜市北部１地区地域包括支援センター
3/26	「対人援助の関係性」	宮城県ケアマネージャー協会　塩釜支部

令和２年４月から６月までは各種研修等実施なし。

令和２年４月から令和３年３月まで各市町村ケア連絡会実施なし。

毎月１日　ケアプランセンター東雲　ミーティング開催

サービス付き高齢者向け住宅東雲　事業実績報告

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新規入居者の受け入れ制限、館内への入館制限、各種行事の自粛等、制約が多い中での事業運営となりました。入居者が引き続き安心して安全に快適に生活頂けるように努めて参りました。

・食事の面においてはグループ会社が運営するレストランフェニーチェと都度協議を重ね、趣味趣向、体調に応じた細かな献立作りを心掛けました。
・施設設備の破損や異常において速やかに修繕を行い入居者の安全確保に努めました。
・年２回（12 月・３月）と消防訓練を実施し、災害時に職員が迅速な対応を取れるよう努めました。
・感染症や食中毒等が発生することなく本年度を終えることができました。引き続き、常時来館者に対する手指消毒、マスク着用の推進、職員の体調不良者に対する対応等、感染症予防に自覚的取組んで参ります。

令和２年度利用実績

入居者の要介護度別平均年齢　平均介護度　1.79　平均年齢　85.0 歳

	自立	要支援 1	2	要介護 1	2	3	4	5	平均
男	88 歳	-	87 歳	86.6 歳	84.6 歳	-	89 歳	-	87.0 歳
女	86 歳	67 歳	84.5 歳	82.5 歳	88.2 歳	-	90 歳	-	83.0 歳
平均	87 歳	66 歳	85.7 歳	84.5 歳	86.4 歳	-	89.5 歳	-	85.0 歳

全居室数　30 室　平均稼働率　92.7%

月	稼働居室数	稼働率	月	稼働居室数	稼働率
４月	28/30 室	92.6%	１０月	27/30 室	87.1%
５月	28/30 室	90.6%	１１月	28/30 室	93.3%
６月	27/30 室	88.1%	１２月	30/30 室	94.8%
７月	28/30 室	89.5%	１月	30/30 室	100.0%
８月	27/30 室	90.0%	２月	30/30 室	100.0%
９月	27/30 室	89.2%	３月	30/30 室	97.0%

※最大稼 30 室×暦日数　※実績率　在室数×日数－空室数×日数　により算出。

ケアプランセンター抱優 事業実績報告

安心して住み続けることができる地域社会にはいろんな社会資源が必要です。ケアプランセンター抱優は、介護が必要であっても、認知症になっても、住み慣れた地域でその人らしい生活が継続できることを共に考える居宅介護支援事業所を目指し活動してきました。

２名体制で担当件数も上限に達し、加算取得可能な３名体制を目指していましたが、職員の退職にあたり、担当利用者を他の事業所に引き継ぐことになってしまいました。着実に利用者や関係各機関の信頼を得て、担当者数の獲得ができていただけに、とても残念です。職員体制等を再度検討し、安定した運営を目指します。

今年度の実績は以下のとおりです。地域包括支援センターや病院とさまざまな機会を通じて、連携を深める取組みの結果、担当可能な上限の利用者を担当することができました。今後も、関係各機関との連携を深め、新規利用者の紹介を受けていくと共に、できるだけ長く安心して在宅で生活が継続できるケアマネジメントを実践していきます。

	要介護1	2	3	4	5	**合計**	要支援	**担当**	新規	終結・入院
4月	４０	１５	１１	7	0	**７３**	１２	**８５**	1	4
5月	３８	１４	１１	6	0	**６９**	１２	**８２**	0	4
6月	３９	１６	１１	7	0	**７３**	１２	**８５**	2	0
7月	３９	１４	１２	7	0	**７２**	１２	**８４**	1	2
8月	３８	１３	１２	9	0	**７２**	１１	**８３**	3	3
9月	３７	１５	１２	9	0	**７４**	１２	**８６**	4	1
１０月	３３	１７	１２	１０	0	**７２**	１３	**８４**	2	4
１１月	３０	１８	１１	7	0	**６６**	１３	**７９**	0	6
１２月	２４	１６	8	4	0	**５２**	4	**５６**	0	１４
1月	２２	１３	7	1	0	**４３**	2	**４５**	1	１０
2月	２１	１３	7	1	0	**４２**	4	**４６**	0	1
3月	２２	１３	7	1	0	**４３**	4	**４７**	1	0

会議・研修等受講報告

受講月日	研修名	実施主体
7/22	八乙女地域包括　ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
8/7	オンラインセミナー	
10/14	南光台地域包括ケアマネ研修	南光台地域包括支援センター
11/24	八乙女地域包括圏域ケア会議	八乙女地域包括支援センター

12/9	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
1/15	他法人合同事例検討会	仙台徳洲会介護センター他
1/20	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター
２/2	認知症カフェセミナー	認知症介護研究・研修仙台センター
２/17	なないろカフェ	虹の丘地域包括支援センター

やまとみらい八乙女保育園 事業実績報告

【事業報告】

令和２年度は０歳児１名、１歳児７名、２歳児８名、計 16 名の定員を割るスタートとなりました。8 月に０歳児２名、12 月に１名が入園しましたが、２歳児２名が他園へ移行、その為１歳児の定員を１名増やし入園しましたが家庭事情で退園し園児の出入りがあり不安定な運営の 1 年となりました。昨今、育児休暇の充実から 0 歳児の入園希望が少ない傾向にあり、来年度は定員の見直し等行い安定した運営に努めてまいります。

今年度は職員３名が入職しましたので改めて「園としての保育のあり方」「園児の為の保育実践」を周知、保育を語り合う機会を多く持ち意見交換や同僚の保育観を認め合うなど意識し、子どもの姿を大切にした実践に取り組んでまいりました。コロナウイルス感染症による新たな課題が多くありましたが、都度、確認し丁寧な保護者対応を行い職員の良好なチームワークが形成されたと感じています。今後も保育環境の整備をしっかりと行い、園児、職員が安心して過ごせる環境作りに努めてまいります。

【やまとみらい八乙女保育園利用実績】　　定員 19 名

月	入園児数			退園児数			合計
	０歳児	１歳児	２歳児	０歳児	１歳児	２歳児	
４月	1	7	8	0	0	0	16 名
５月	1	7	8	0	0	0	16 名
６月	1	7	8	0	0	0	16 名
７月	1	7	8	0	0	0	16 名
８月	3	7	7	0	0	1	17 名
９月	3	7	7	0	0	0	17 名
10 月	3	7	6	0	0	1	16 名
11 月	3	8	6	0	0	0	17 名
12 月	4	8	6	0	0	0	18 名
１月	4	8	6	0	0	0	18 名
２月	4	8	6	0	0	0	18 名
３月	4	7	6	0	1	0	17 名

【各種会議開催状況】

保育園全体の連携や各職種連携のため次の会議を開催し、業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
管理者会議	現状報告、情報連絡、課題提起・検討、収支報告	6/3、7/10、8/21、9/11、10/9、11/13、12/11、1/15、2/12、	理事長、事務局長、総務課長、各事業管理者
職員会議	保育・給食状況報告、行事反	4/1、5/8、6/3、7/2、	園長、保育士、保育

	省、次月予定、課題提起・検討、情報・意識の共有	8/4、9/3、10/1、11/4、12/8、1/8、2/12、3/2、3/24	従事者、栄養士、調理員
給食会議	現状報告、情報連絡、課題提起・検討	4/13、5/15、6/19、7/17、8/18、9/15、10/14、11/13、12/14、1/15、2/19、3/16	園長、栄養士、調理員

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

保育のスキルアップや情報交換、小規模保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

開催日	名称	参加者	主催者
8/7	リーダー的保育士研修	保育士	仙台市子供未来局
9/9	乳児保育研修	園長	仙台市子供未来局
9/24	障がい児保育	保育士	仙台市子供未来局
10/1	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
10/1	キャリアアップ研修（乳児保育）	保育士	宮城県社会福祉協議会
10/5	施設長研修	保育士	仙台市子供未来局
10/16	キャリアアップ研修（乳児保育）	保育士	宮城県社会福祉協議会
10/26	キャリアアップ研修（乳児保育）	保育士	宮城県社会福祉協議会
10/29	乳児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
1/13.14.15	キャリアアップ研修（マネジメント）	保育士	宮城県社会福祉協議会
2/10	現任保育士研修 所長研修	園長	宮城県子供総合センター

やまとみらい南光台東保育園 事業実績報告

初年度となる令和２年度は、０歳児５名・１歳児 20 名・２歳児３名・３歳児 10 名・４歳児４名・５歳児１名の計 43 名でスタートしました。新型コロナウイルスの流行に伴い就職活動を諦めた保護者、保護者の転勤、保護者の妊娠、兄弟同一保育園入園のための移行などにより退園する園児が５名いました。新たに入園した園児は 11 名、11 月には 49 名となりました。新規保育園ということで、未満児の入園希望が多く、１歳児に関しては毎月のように入園依頼の電話がありました。コロナ感染症防止対策を心掛けながら、見学希望者を受け入れ、２年目となる令和３年度は、園児 64 名となります。

コロナ感染症の対策を行いながら、新園を知っていただくために、出来るだけ行事を中止にせず「どのようにしたら行事を開催できるか」を皆で考え開催してきました。

また、職員の声を拾いやすいように、クラス毎のミーティング、リーダーが各クラスの代表の声を拾う部分会、部分会から上がった議題や、園全体の運営を円滑に進めるためのリーダーミーティング、各クラスの代表と栄養士が、給食と食育、アレルギー対策について話し合う給食会議、全体で話し合う職員会議等、五つの会議で、保育が円滑に行われるように話し合いを進めて参りました。今後もこのまま続けて参ります。

保育士の保育室を越えた関わりを大切に、時には園児もクラスを越えて生活・行事を楽しみました。

今年度は、軽傷ではありましたが１件の通院を要する怪我がありました。更に環境整備に努め、安心で安全な保育に努めてまいります。

【やまとみらい南光台東保育園利用実績】定員６０名

月	入　園　児　数						退園児	合計
	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児		
４月	5	２０	3	１０	4	1	0	４３名
５月	6	２０	3	１０	4	0	1	４３名
６月	6	２０	2	１０	4	0	1	４２名
７月	7	２０	2	１１	5	0	0	４５名
８月	9	１９	3	１１	5	0	1	４７名
９月	9	１９	3	１１	5	0	1	４７名
１０月	8	１９	3	１１	5	0	1	４６名
１１月	8	１９	5	１０	6	1	0	４９名
１２月	8	１９	5	１０	6	1	0	４９名
１月	8	１９	5	１０	6	1	0	４９名
２月	8	１９	5	１０	6	1	0	４９名
３月	8	１９	5	１０	6	1	0	４９名

【各種会議開催状況】

※保育園全体の連携や各職種連携のため、次の会議を開催し業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
管理者会議	現状報告 情報連絡 課題提起・検討 収支報告	4 月・5 月のみ資料提出 6/12、7/10、8/21, 9/11, 10/9, 11/13, 12/8, 1/15, 2/12, 3 月資料提出	理事長、事務局長、総務課長、各事業管理者
職員会議	保育現状報告 意識の共有 行事計画・反省 課題提起・検討	4/27、5/25、6/26, 7/30, 8/28, 9/28, 10/24, 11/24, 12/22, 1/19, 2/26、3/24	園長、主任、保育士、栄養士
リーダー会議	部分会からの検討 情報連絡 課題提起・検討	4/28、5/18、7/8, 8/5, 9/8, 10/6, 11/9, 12/3, 1/8, 19, 2/9, 3/4,	園長、主任、リーダー
部分会	クラスからの提案 行事について 現状報告	7/2, 10、8/3, 9/2, 10/5, 14, 10/4, 11/4, 12/2, 1/7, 2/4, 3/3,	リーダー、各クラスの代表
クラス会	現状把握・共有 課題提起・検討 指導計画・反省 個別指導計画・反省	4/20、21, 22, 23、5/19、20, 21, 22, 6/19, 22、24, 29, 7/16, 20, 21, 28, 8/19, 26, 27, 9/15, 17, 18, 24, 11/25, 26, 27, 30, 12/14, 17, 21, 23, 1/13, 14, 20, 27, 2/1, 12, 16, 18, 3/15, 16, 17, 22	各クラス担任
給食会議	現状報告 情報連絡 課題提起・検討	4/17、5/18、6/19、7/22, 8/20, 9/25, 10/19, 11/20, 12/18, 1/22, 2/19, 3/19	園長、主任、栄養士、リーダー各クラスの代表

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

※保育のスキルアップや情報交換、保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

研修日	名称	参加者	主催者
9/18	泉区子育て支援関係機関連絡会	園長	宮城県保育協議会
10/15	中堅保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
11/30	中堅保育士研修会	保育士	宮城県保育協議会
12/1・1/6 1/12	キャリアアップ研修 幼児教育の意義・環境　等	保育士	宮城県社会福祉協議会
1/21	所長研修	園長	仙台市子供未来局

※新型コロナウイルス感染症流行のため、殆どの研修が中止となる。

就労移行支援事業所オルタ八乙女 事業実績報告

オルタ八乙女は、これまで就職者数や職場定着の実績を地道に積み重ねてきましたが、新規利用者獲得が課題になっています。令和２年度は「個人で就労移行支援を探す方たちにも興味を持っていただくための発信の工夫」を目標に掲げ、①ホームページの見直しと改善、②ホームページとフェイスブックを連動させて効果的に発信する。の２点に力を入れて取り組み、５月から新しい形式で発信を開始しました。ホームページとフェイスブックはリニューアルによって格段に見やすくなった他、活動の様子もタイムリーに発信できるようになりました。今年度は年明けから新型コロナウイルス感染症の流行による活動制限等が多く、いつも通りの活動ができないことも多くありましたが、今年度、問い合わせをくださった方の多くは、事前にオルタ八乙女のホームページを見て、ご自身の希望やイメージに合っているかを確認していたと伺っています。

その他、「企業交流会」「企業担当者様による講座」「企業での作業体験」「先輩の職場を訪問しよう」等、様々な企業様との連携にも注力しました。今後も就労と訓練の間にある垣根をなくしていくための取り組みとして継続してまいります。

事業運営についても、職員個々の強みを活かした役割分担、業務の効率化や職員の支援力アップにつなげるための工夫を重ねております。

来年度も、新型コロナウイルス感染症予防に細心の注意を払いながら、利用者の皆様の夢（就職と安定）の実現に向けて最善の支援を提供し、成果を出すことをもって、健全且つ自立的な安定運営と財務基盤の向上を目指してまいります。

[登録者数、月平均利用人数]

就労移行　　＊平日よりも利用人数が少ない土曜開所も含めて平均利用人数を出しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者	17	17	17	15	16	27	39	34	37	21	17	18
平　均	12,8	14,5	13,8	11,6	12,4	13,8	16,8	16,5	18,4	16,3	14,1	14,9

就労定着

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者	8	8	9	9	9	9	7	7	7	8	8	8

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

日 時	研修内容	主催
7/21	よめごと会議	泉区自立支援協議会
9/28	避難確保計画作成に関する説明会	仙台市危機管理室　減災推進課
9/29	よめごと会議	泉区自立支援協議会
9/23,28,30	就業支援基礎研修	宮城障害者職業センター

10/13	令和２年障害者雇用促進セミナー「おしえて！障害者雇用」	仙台市障害企画課社会参加係、仙台市障害者就労支援センター
1/18	防火防災管理再講習	仙台市防災安全協会
3/3	精神保健福祉スキルアップ研修（オンライン）	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

所内研修

日 時	研修内容	出席者
5/20	安全運転研修	職員全員
6/17	大塚製薬㈱による職員研修（統合失調症と抗うつ薬）	
7/15	火災・災害対応研修	
9/9	大塚製薬㈱による職員研修（鎮静疑似体験）	
10/21	大塚製薬㈱による職員研修（うつ病と双極性障害）	
12/16	大塚製薬㈱による職員研修（自閉症スペクトラム症とてんかん）	
12/23	体調、衛生管理研修	
2/17	個人情報保護研修	

内部会議

会議名	議　題	開催日	構成メンバー
ケース共有	・訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 ・業務連絡、翌日の予定の確認	毎日 17:30～18:00	全職員
職員会議	・カリキュラム内容の調整、運営、役割分担、日程調整 ・支援方法、情報、意識の摺合せ	第１（水） 16:00～17:00	
	・個別支援計画	最終（水） 16:00～17:00	

ワインフォレスト七ツ森　事業実績報告

令和２年４月３日、株式会社みらいファームやまと様が運営するレストラン【了美Ｗｉｎｅ＆Ｄｉｎｅ】の開業に伴うレストラン業務等の一部受託で今年度より本格的に事業をスタートすることが出来ました。

当初はまだどのような事業をおこなっているのか認知度が低かったものの、各種メディアにレストランが取り上げられることにより認知度が高まり、少しずつではありますが問合せが増え、利用者が増えてきました。また、各支援学校生徒様や保護者様から興味を持っていただき、実習生９名の受入れをおこない、そのうち７名の利用がきまりました。

１年を通して活動し、見えてきた多くの課題も明確になってきました。当初採用したサービス管理責任者が退職したことにより、利用者への支援が充分ではなかったこと。こちらは年度中にサービス管理責任者等基礎研修を管理者が受講し対応しましたが、さらに職員への障害者への理解や支援スキル向上が必要ですので、次年度は事業所内の勉強会や外部研修に積極的に参加していきます。

次に自主事業を確立出来ていない点と就労継続支援Ｂ型の利用者の獲得が出来ていないという点です。これらの課題に対して次年度は職員の支援スキルと知識の向上、自主事業の確立、Ｂ型利用者の獲得を中心に、就労継続支援Ａ型・Ｂ型事業所として、利用者が働くということの「経済性」と、働きづらさを抱えている方への仕事を提供し支援するという「公共性」の両輪をしっかり回すことを意識し、活動を継続してまいります。

２.利用者の状況（令和３年３月31日現在）定員20名（Ａ型：10名、Ｂ型10名）

（1）サービス区分毎登録利用者数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
就労継続支援Ａ型	３名	３名	４名	５名	６名	７名	７名	７名	７名	８名	９名	９名
就労継続支援Ｂ型	１名	１名	１名	１名	１名	１名	１名	２名	２名	２名	２名	２名
合計	４名	４名	５名	６名	７名	８名	８名	９名	９名	10名	11名	11名

（2）サービス区分毎地区別登録者数

	大和町	大郷町	富谷市	仙台市	合計
就労継続支援Ａ型	２名	１名	１名	５名	９名
就労継続支援Ｂ型	０名	１名	０名	１名	２名
合計	２名	２名	１名	６名	11名

（3）サービス区分毎年齢別登録者数

	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	合計
就労継続支援Ａ型	１名	４名	１名	３名	９名

就労継続支援Ｂ型	1 名	0 名	0 名	1 名	2 名
合計	2 名	4 名	1 名	4 名	11 名

（4）サービス区分毎利用者稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月最大利用日数		22日	23日	20日	23日	22日	21日	23日	22日	21日	22日	20日	22日
100%稼働時利用者延べ人数		440名	460名	400名	460名	440名	420名	460名	440名	420名	440名	400名	440名
就労継続支援Ａ型	利用者延べ人数	62名	66名	73名	95名	83名	104名	113名	104名	93名	117名	152名	154名
	稼働率	28.2%	28.7%	36.5%	41.3%	37.7%	49.5%	49.1%	47.3%	44.3%	53.2%	76.0%	70.0%
就労継続支援Ｂ型	利用者延べ人数	5 名	13名	9 名	12名	13名	11名	14名	23名	28名	20名	17名	20名
	稼働率	2.3%	5.7%	4.5%	5.2%	5.9%	5.2%	6.1%	10.5%	13.3%	9.1%	8.5%	9.1%
事業所合計	利用者延べ人数	67名	79名	82名	107名	96名	115名	127名	127名	121名	137名	169名	174名
	稼働率	15.2%	17.2%	20.5%	23.3%	21.8%	27.4%	27.6%	28.9%	28.8%	31.1%	42.3%	39.5%

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

日 時	会 議 内 容 ・ 研 修 内 容	主 催 他
R2.6.1	介護職員初任者研修	三幸福祉カレッジ
	（6/3、5、8、10、12、17）	
R2.9.29	サービス管理責任者等基礎研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
	（9/30、10/1、10/116）	

事業報告の付属明細書

令和２年度の事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人やまとみらい福祉会
理事長　早坂　了悦